

議員提出議案第8号

アメリカ合衆国の新型核実験の強行に抗議し、すべての核実験の停止を求める決議

上記の議案を提出する。

平成24年9月24日

| | | | |
|-----|---------|-----|-----|
| 提出者 | 杉並区議会議員 | 富本 | 卓 |
| | 同 | 渡辺 | 富士雄 |
| | 同 | すぐろ | 奈緒 |
| | 同 | 山田 | 耕平 |
| | 同 | 小松 | 久子 |
| | 同 | 大和田 | 伸 |
| | 同 | 脇坂 | たつや |
| | 同 | 大熊 | 昌巳 |
| | 同 | 原田 | あきら |
| | 同 | 小川 | 宗次郎 |
| | 同 | 河津 | 利恵子 |
| | 同 | 大槻 | 城一 |

杉並区議会議長 井口 かづ子 様

アメリカ合衆国の新型核実験の強行に抗議し、
すべての核実験の停止を求める決議

この度、貴国がニューメキシコ州サンディア国立研究所において、今年4月から6月の間に5回目、8月27日に6回目となる核爆発を伴わない新型の核実験を実施し、今後も核実験を継続する方針を示しているとの報道に接した。

貴国の核実験については、これまでも再三にわたり即時停止を求めてきたにもかかわらず、再び同様の核実験が行われたことは、極めて遺憾である。

本来であれば、2009年4月に貴国大統領が「核兵器なき世界」を訴えたプラハ演説の趣旨に基づき、核兵器の廃絶に向けて先導的な役割を果たさなければならない貴国が、核兵器の製造・開発につながるおそれのある新型の核実験を強行し、今後も継続する方針を示すことは、世界の核軍縮努力に逆行するものである。このことは、世界平和を願う人々の思いを踏みにじり、プラハ演説での大統領の言葉を信じた人々を裏切る行為そのものである。

杉並区議会は、当区が日本での原水爆禁止署名運動発祥の地であり、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、杉並区平和都市宣言を議決している立場から、これまであらゆる核実験に抗議してきた。

核兵器の存在しない平和な世界は、杉並区民のみならず、人類共通の願いであり、一日も早い実現が望まれている。

杉並区議会は、貴国の度重なる核実験に強く抗議し、改めて、今後一切の核実験を停止することを、強く求めるものである。

以上、決議する。

平成 年 月 日 杉並区議会